

平成 2 1 年度 農作物病虫害発生予察 6 月月報

平成 2 1 年(2009年) 7 月 1 日
山 口 県 病 害 虫 防 除 所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
6.1	20.0	20.6	△ 0.6	25.1	26.0	△ 0.9	15.6	15.6	0.0
6.2	20.8	21.2	△ 0.4	25.0	26.4	△ 1.4	17.4	16.6	0.8
6.3	22.5	21.8	0.7	28.8	26.6	2.2	17.5	17.5	0.0
6.4	24.7	22.3	2.4	30.7	26.7	4.0	19.1	18.4	0.7
6.5	24.6	22.8	1.8	29.6	26.9	2.7	20.5	19.3	1.2
6.6	24.6	23.4	1.2	28.7	27.5	1.2	21.3	20.1	1.2
平均・計	22.9	22.0	0.9	28.0	26.7	1.3	18.6	17.9	0.7
月・半旬	平均湿度(%)			降水量(mm)			日照時間(h)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
	6.1	69	72	△ 3	45.0	28.1	16.9	20.0	31.9
6.2	77	74	3	25.5	34.0	△ 8.5	19.4	29.9	△ 10.5
6.3	64	76	△ 12	0.0	41.3	△ 41.3	44.8	26.7	18.1
6.4	60	78	△ 18	0.0	53.6	△ 53.6	51.5	23.1	28.4
6.5	73	81	△ 8	28.0	69.7	△ 41.7	25.2	20.1	5.1
6.6	76	82	△ 6	113.5	76.3	37.2	24.3	19.8	4.5
平均・計	70	77	△ 7	212.0	303.0	△ 91.0	185.2	151.5	33.7

II 作物の生育状況

- 1 イネ : 中旬の好天により、5月上中下旬植えは概ね良好で、葉色はやや淡かった。
- 2 カンキツ : 着花数は多く、開花時期は平年に比べて1週間程度早かった。
- 3 ナシ : 果実の肥大は良好であった。

Ⅲ 病害虫の発生概況

1 普通作物

2009年6月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
<p>イネ 葉いもち</p>	<p>1 初発生 補植用苗における発生は6月23日(平年初発生6月22日)に岩国市美和町で認められ、平年並みであった。 本田における発生は認められなかった(平年初発生6月27日)。 2 定期巡回調査 (1) 全県における発生 中旬の巡回調査では、葉いもちの発生は認められず平年並みであった。苗いもちの持ち込みは認められなかった。 下旬の巡回調査では、葉いもちの発生ほ場率0%(平年1.2%)、発病株率0%(平年0.2%)、発病度0(平年0.0)で平年に比べやや少なかった。また、1000株見歩き調査では、発生ほ場率0%(平年0.7%)、発病株率0%(平年0.2%)で平年に比べやや少なかった。補植用苗の残存ほ場率は22.1%(平年19.6%)で平年並みであった。 (2) 中山間地域における発生 6月6半旬の中山間地域(周防山間、長門山間、長門中間30ほ場)における発生ほ場率は0%(苗いもちの持ち込みの多かった1998年と2004年を除く過去20年間の平均は3.3%)で、発生概評は「少」であった(発生ほ場率が1~6番目に高かったほ場を「多」、7~14番目を「平年並」、15~20番目を「少」とした場合)。</p>	<p>岩国市 (補植用苗)</p>	<p>—</p>
<p>ばか苗病 萎縮病 縞葉枯病</p>	<p>下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
<p>ツマグロヨコバイ</p>	<p>中旬の巡回調査では、発生ほ場率1.7%(平年2.8%)、10株当たり虫数0.01頭(平年0.02頭)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.0%(平年13.0%)、10株当たり虫数2.1頭(平年0.3頭)で平年に比べやや多かった。</p>	<p>県内全域</p>	<p>中 287 少 2,583 計 2,870</p>

2009年6月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ ヒメトビウンカ	<p>中旬の巡回調査では、発生ほ場率3.4% (平年2.0%)、10株当たり虫数0.02頭(平年0.02頭)で平年に比べやや多かった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率18.2% (平年8.1%)、10株当たり虫数0.2頭(平年0.1頭)で平年に比べやや多かった。</p> <p>20回すくい取り調査では、発生ほ場率28.9%、1ほ場当たり平均1.0頭で、全県的に確認され、前年(発生ほ場率16.3%、1ほ場当たり平均虫数0.4頭)に比べ多かった。</p>	県内全域	少 4,019
セジロウンカ	<p>梅雨前線の発達に伴う下層ジェット気流の状況と予察灯およびネットラップの誘殺状況から、6月22日(少)頃に飛来したと推測された。</p> <p>予察灯における誘殺数(4か所、5月11日～6月23日合計)は3頭(平年46.8頭)で平年並みであった。</p> <p>中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年2.3%)、10株当たり虫数0頭(平年0.02頭)で平年に比べやや少なかった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3%(平年40.8%)、10株当たり虫数0.3頭(平年1.6頭)で平年に比べやや少なかった。</p> <p>20回すくい取り調査では、発生ほ場率72.4%、1ほ場当たり平均3.1頭で、県西部を中心に全県に飛来していることが確認され、前年(発生ほ場率10.0%、1ほ場当たり平均虫数0.3頭)に比べ多かった。</p>	県内全域	少 6,889
トビイロウンカ	<p>6月23日時点で飛来は確認されていない(平年初確認:6月21日)。</p> <p>予察灯における誘殺数(4か所、5月11日～6月23日合計)は0頭(平年0.3頭)で平年に比べやや少なかった。</p> <p>中旬及び下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。</p> <p>20回すくい取り調査では、発生ほ場率0%、1ほ場当たり平均0頭で前年並みであった。</p>	—	—

2009年6月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ コブノメイガ	6月23日時点で飛来は確認されていない (平年初確認: 6月25日)。 6月1日~28日の山口市のマレーズトラップによる誘殺数は、0頭(平年1.7頭)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では発生ほ場率0%(平年0.6%)、被害株率0%(平年0.05%)で平年並みであった。	—	—
イチモンジセセリ (イネトムシ)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.4%(平年10.5%)、10株当たりつと数0.08(平年0.07)で平年に比べやや多かった。 巡回調査ほ場では、中~老令幼虫が確認され、発生時期は平年並みであった。	県内全域	少 2,296
イネミズゾウムシ	予察灯における誘殺数(4か所、4月~5月合計)は1頭(平年90.1頭)で平年に比べ少なかった。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率44.1%(平年56.5%)、被害度6.1(平年7.0)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率62.3%(平年53.0%)、被害度5.1(平年4.8)で平年並みであった。	県内全域	多 287 中 1,722 少 <u>11,769</u> 計 13,778
イネゾウムシ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率16.9%(平年30.5%)、被害株率4.1%(平年3.1%)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.3%(平年32.7%)、被害株率5.8%(平年3.1%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	甚 340 多 681 少 <u>7,877</u> 計 8,898
フタオビコヤガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率1.7%(平年0%)、株当たり虫数0.01頭(平年0頭)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率1.3%(平年1.0%)、株当たり虫数0.01頭(平年0.01頭)で平年並みであった。 県内の予察灯では成虫誘殺最盛期が確認できなかった。	県内全域	少 287
イネカラバエ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率1.7%(平年0.5%)、被害株率0.41%(平年0.01%)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率2.6%(平年1.8%)、被害株率0.12%(平年0.11%)で平年並みであった。	県内全域	中 340 少 <u>234</u> 計 574

2009年6月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)															
イネ ニカメイガ	予察灯による誘殺はなく、平年に比べやや少なかった。 各地点の予察灯の誘殺数 (5月1日～6月23日)	—	—															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年 (頭)</th> <th>昨年 (頭)</th> <th>平年 (頭)</th> <th>概評</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下関</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>5.6</td> <td>やや少</td> </tr> <tr> <td>萩</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6.8</td> <td>平年並</td> </tr> </tbody> </table>	地点	本年 (頭)	昨年 (頭)	平年 (頭)	概評	下関	0	0	5.6	やや少	萩	0	0	6.8	平年並		
	地点	本年 (頭)	昨年 (頭)	平年 (頭)	概評													
下関	0	0	5.6	やや少														
萩	0	0	6.8	平年並														
斑点米カメムシ類	予察灯における誘殺数(4か所、5月5半旬～6月4半旬合計)は、アサジカシカメは60頭(平年37.6頭)、アヒゲホトトリカシカメは18頭(平年6.5頭)で平年に比べやや多く、ケハカメシは1頭(平年0.4頭)で平年並みであった。また、予察灯(4か所、5月1半旬～6月4半旬合計)では、ミナミアオカメムシが8頭(前年4頭)誘殺された。柳井市、山口市秋穂町の極早期栽培地域のイネ科雑草地における20回すくい取り調査では、アサジカシカメは48.4頭(平年30.9頭)、ケハカメシは4.0頭(平年1.5頭)、シホカメシは0.8頭(平年0.6頭)で平年に比べやや多く、ホハカメシは1.3頭(平年1.5頭)で平年並みであった。県内各地で6月下旬頃からエノコグサの穂が目立つようになり、ケハカメシ等の発生源となる雑草地が増加傾向にある。	—	—															

2 果樹

2009年6月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ (調査ほ場数:22) そうか病	下旬の巡回調査では、発病ほ場率0%(平年17.8%)、発病葉率0%(平年0.5%)、発病果率0%(平年0.4%)で平年に比べ少なかった。	—	—
黒点病	下旬の巡回調査では、果実における発病ほ場率50.0%(平年71.3%)、発病葉率5.8%(平年37.1%)、発病果率2.4%(平年6.8%)で、平年に比べ少なかった。	県内全域	少 833
かいよう病	下旬の巡回調査では、発病ほ場率13.6%(平年21.9%)、発病葉率0.1%(平年2.1%)、発病果率0.2%(平年0.4%)で、平年に比べやや少なかった。	県内全域	少 227

2009年6月

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
カンキツ 灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率63.9% (<u>平</u> 年46.6%)、発病果率4.2%(<u>平</u> 年2.2%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 303 <u>少</u> 757 計 1,060
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率72.7% (<u>平</u> 年60.7%)、寄生葉率12.5%(<u>平</u> 年8.2%) で平年に比べやや多かった。 一部のほ場で多発生が認められた。	県内全域	甚 76 中 151 <u>少</u> 984 計 1211
チャノキアザミマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.5% (<u>平</u> 年9.5%)、被害果率0.2%(<u>平</u> 年0.2%) で平年並みであった。	県内全域	少 76
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率 0% (<u>平</u> 年0.8%)、被害果率 0%(<u>平</u> 年0.2%) で平年並みであった。	—	—
ハマカハガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(<u>平</u> 年2.5%)、被害果率0%(<u>平</u> 年0.08%)で やや少なかった。	—	—
ナシ(二十世紀) (調査ほ場数:10) 黒斑病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率80.0% (<u>平</u> 年96.0%)、発病葉率0.4%(<u>平</u> 年2.4%) 、発病新梢率6.9%(<u>平</u> 年19.6%)で平 年に比べ少なかった。	県内全域	多 43 中 43 <u>少</u> 88 計 174
黒星病	下旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。	—	—
輪紋病 うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。	—	—
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生は認められ ず平年並みであった。	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (<u>平</u> 年47.0%)、寄生新梢率2.2%(<u>平</u> 年 4.8%)で平年並みであった。主要種はミ カンミドリアブラムシであった。	県内全域	少 87
ニセシサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0 %、寄生新梢率0.4%であった。	県内全域	少 65

2009年6月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)					
果樹全般 カメムシ類 (チャバネオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)	予察灯(県内6か所、5月5半旬～6月4半旬合計)における誘殺数は、193頭(平年126頭)で平年並みであった。優占種はツヤアオカメムシであった。 フェロモントラップ(県内4か所)によるチャバネオカメムシ6月の誘殺数は、476頭(平年913頭)で平年並みであった。	県内全域	—					
(参考) 6月のチャバネオカメムシフェロモントラップ誘殺数(本年は5半旬までのデータ)								
	2009年	2008年	2007年	2006年	2005年	2004年	2003年	2002年
阿東	101	34	190	60	15	488	43	126
秋芳	63	22	101	194	10	1,505	2	947
山口落試※1	232	15	107	253	16	86	23	126
山口農試※2	80	117	123	417	—	903	2	471
※1農林総合技術センター落葉果樹試験地 ※2農林総合技術センター本場								

3 野菜

2009年6月

野菜、花き類 アブラムシ類	山口市大内の黄色水盤トラップによる6月の誘殺数は、430頭(平年255頭)で平年に比べやや多かった。	県内全域	—																								
ハスモンヨトウ	山口市大内のフェロモントラップによる6月の誘殺数は、284頭(平年313頭)で平年並みであった。 【参考】フェロモントラップでの6月の誘殺数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年 (頭)</th> <th>平年 (頭)</th> <th>概評</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周南市</td> <td>84</td> <td>60.9</td> <td>やや多</td> </tr> <tr> <td>阿東町</td> <td>51</td> <td>56.8</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>萩市</td> <td>13</td> <td>11.1</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>下関市</td> <td>81</td> <td>148.4</td> <td>やや少</td> </tr> <tr> <td>柳井市</td> <td>113</td> <td>58</td> <td>前年より多</td> </tr> </tbody> </table> ※周南市～萩市は6月1～4半旬、 下関市と柳井市は6月1～6半旬の合計 下関市の平年値は過去5年の平均 柳井市は前年値との比較。	地点	本年 (頭)	平年 (頭)	概評	周南市	84	60.9	やや多	阿東町	51	56.8	平年並	萩市	13	11.1	平年並	下関市	81	148.4	やや少	柳井市	113	58	前年より多	県内全域	—
地点	本年 (頭)	平年 (頭)	概評																								
周南市	84	60.9	やや多																								
阿東町	51	56.8	平年並																								
萩市	13	11.1	平年並																								
下関市	81	148.4	やや少																								
柳井市	113	58	前年より多																								
オオタバコガ	山口市大内のフェロモントラップによる6月の誘殺数は、16頭(平年2.9頭)で平年に比べ多かった。	県内全域	—																								
シロイチモジヨトウ	山口市大内のフェロモントラップによる6月の誘殺数は、7頭(平年8.9頭)で平年並みであった。	県内全域	—																								

お問い合わせは山口県病害虫防除所へどうぞ

電 話 083-927-4006
F A X 083-927-4071
テレホンサービス 083-927-4649

作物	担当者
普通作	藤村（病害） 中川（虫害）
果 樹	村本（病害） 殿河内（虫害）
野 菜	河村（病害） 溝部（虫害）